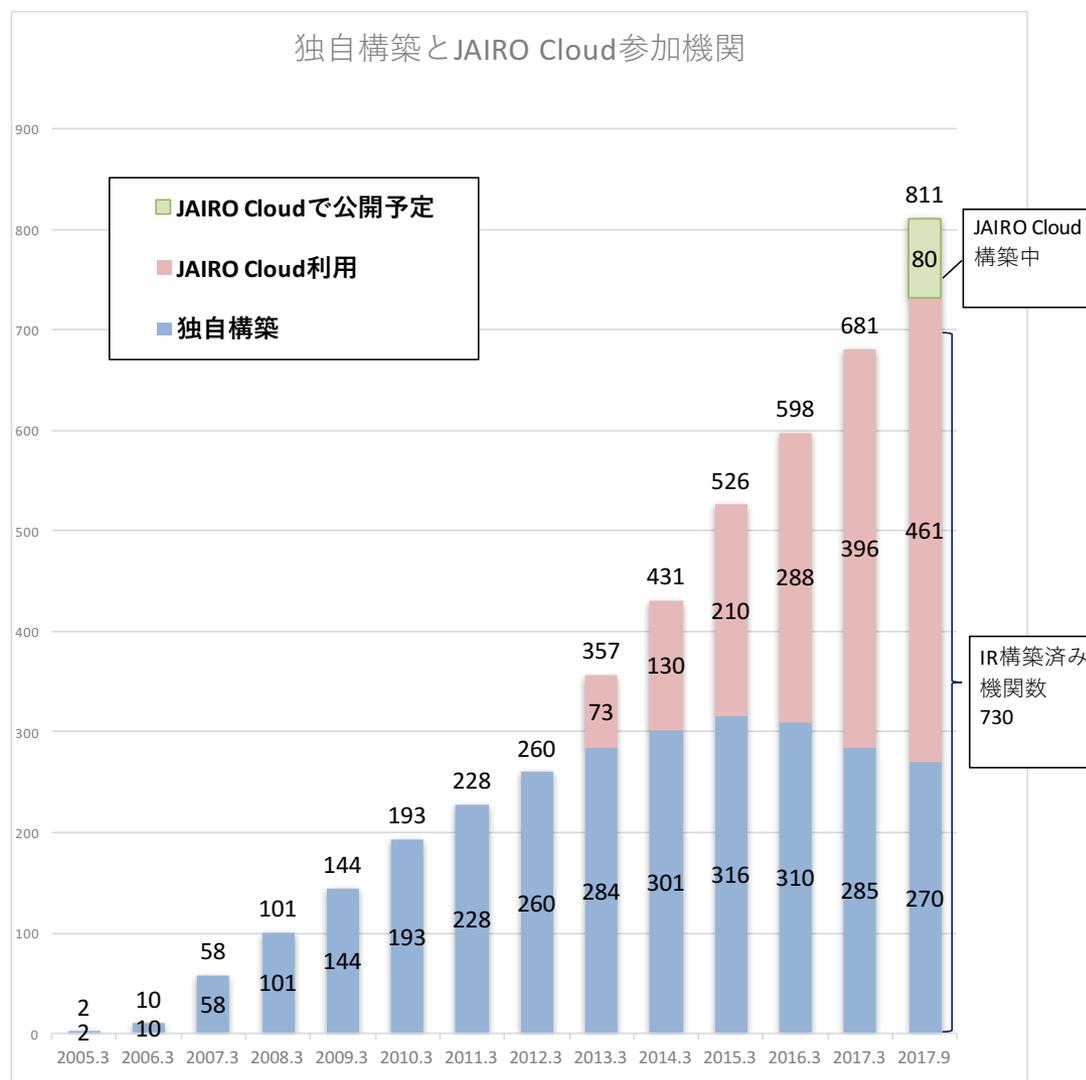


# 今後の開発に向けて ～次期JAIRO Cloud/WEKOの開発～

国立情報学研究所

林正治

# JAIRO Cloudの利用状況



ここまでこれたのも、みなさまのおかげです！

# WEKO

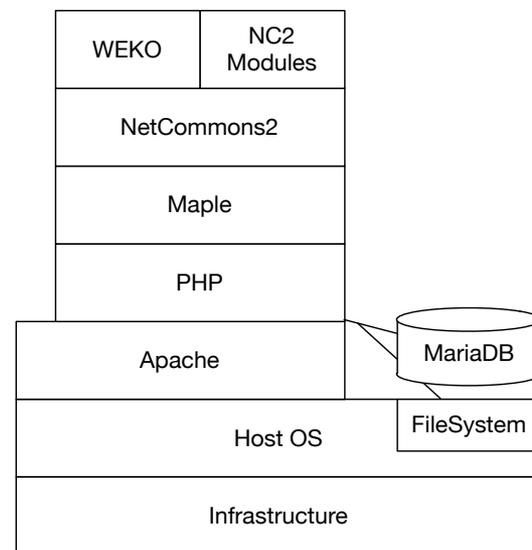
• 文献だけではない研究成果がどんどん共有されるような学術社会を作りたいという願いを込めて開発されたリポジトリシステム

- NetCommons2(NC2)のリポジトリモジュール
- DSpace, EPrints などと等価の機能
- カスタマイズ可能なメタデータ項目機能
- マルティメディアファイルビューワ機能
- 全文検索機能 (対応フォーマットのみ)
- コミュニティサイト構築機能 (NC2機能)



Repository Module on NC2

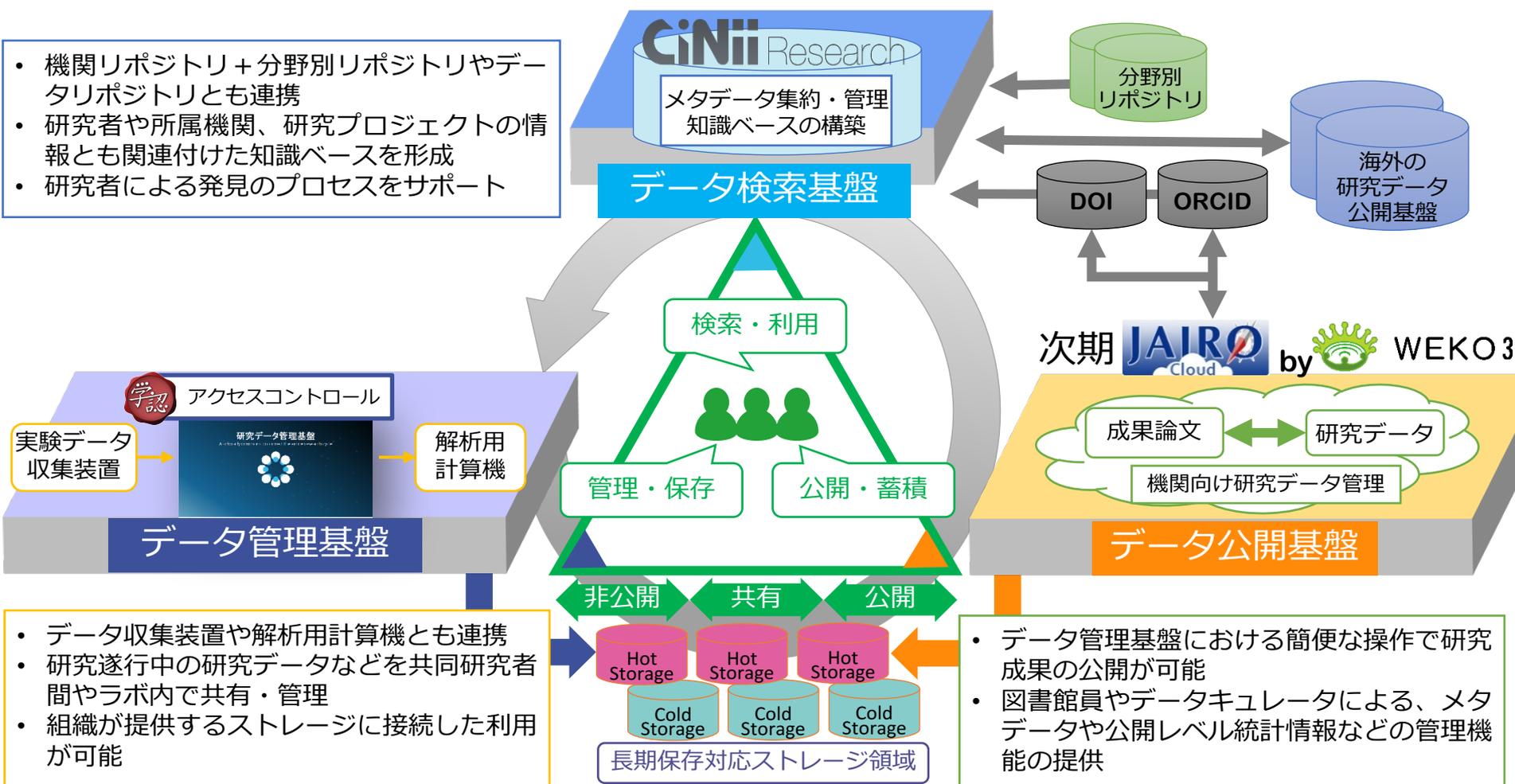
# WEKO



JAIRO Cloudの成長とともに高機能化  
 だけど、リプレースの次期が近づいてきた

# NIIが構築中の研究データ基盤

- 機関リポジトリ + 分野別リポジトリやデータリポジトリとも連携
- 研究者や所属機関、研究プロジェクトの情報とも関連付けた知識ベースを形成
- 研究者による発見のプロセスをサポート

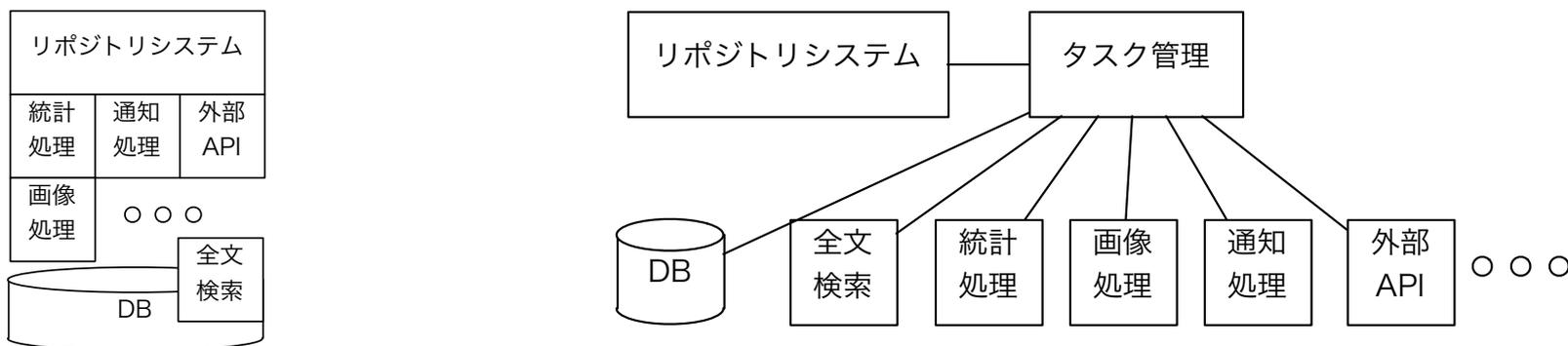


- データ収集装置や解析用計算機とも連携
- 研究遂行中の研究データなどを共同研究者間やラボ内で共有・管理
- 組織が提供するストレージに接続した利用が可能

- データ管理基盤における簡便な操作で研究成果の公開が可能
- 図書館員やデータキュレータによる、メタデータや公開レベル統計情報などの管理機能の提供

# データ公開基盤 (WEKO3)

- 原則：次期JAIRO Cloud(WEKO3)は皆さんと一緒に作り上げていく
  - NIIはその実現可能性、将来性、持続可能性の検討を行ないながら開発を進める立場
- 基本方針
  - 管理基盤（研究者）と公開基盤（図書館員&URA）の機能を切り分けて次世代機関リポジトリとしての機能の先鋭化
  - システム内部のコンポーネント化を徹底することで拡張性と運用性を飛躍的に向上



## どう変わるか？

- 研究者にとって研究成果を簡単に公開できるようになる
- 研究データ向けのIFにも随時対応し大容量データ登録も可能になる
- 機関リポジトリだけでなく分野別リポジトリにも活用しやすくなる

# 開発状況

- Invenio v3 Digital Library Frameworkをベースに開発
  - Invenio v3は、デジタル資料管理のためのツールを提供するオープンソースライブラリパッケージ
  - CERNを中心としたオープンソースコミュニティが開発
- 今年度はJC基本機能の実装



WEKO3

X

INVENIO

NIIは、JPCOARと協働しながら、  
次世代の機関リポジトリを実現します

ご清聴ありがとうございました